

高松高校生が 東京の開成中学・高校生と ともに香川の魅力を発見し、 日本の未来を語り合います。

令和7年6月19日（木）
香川県立高松高等学校
担当：三崎（当日の取材、
内容に関すること）
電話：087-831-7251

（テーマ） 地方から発信する日本の未来創造

- 1 日 時：令和7年8月7日（木）～8月9日（土）2泊3日
- 2 場 所：香川県立高松高校及び香川県内
（例：四国八十八カ所、瀬戸内国際芸術祭、栗林公園、うどん作り体験など）
- 3 主旨と目的等

高松高校と開成中学・高校とはサッカーと学習面を通して互いに交流を深めており、その交流は今年で8年目となります。昨年冬に高松高校生28名が都内を訪問したときも、試合をした後、班毎に分かれて互いに交流する時間を設けました。ここで芽生えた友情は今も続いており、今夏に31名の開成中学3年生が初めて来県します。高校内に宿泊してもらいながら本校生と交流し、地方の現状を見てもらいながら友情を深め、日本の未来について語り合います。

そして本校生が計画した「香川県魅力発信プラン」に基づき、開成の生徒を3日間にわけて案内します。本校生にとって地元香川の魅力を他者へ伝えるということは、自分の故郷を再認識する機会であり、改めて自分たちが生活してきた香川の素晴らしさを自ら考える機会となります。本校生は卒業後県外に出て大学生活を送る者が多いですが、単なる都会へのあこがれではなく、地元の良さを知った上で県外に出て活躍してほしいと考えています。

実際に香川県内を回りながら、互いの意見交換と共に、日本の未来のあるべき姿を考察・探究し、また世界に向けても想いを巡らせる機会としたいと考えます。そしてここで芽生えた友情は今後大学や社会で繋がるきっかけとなり、共に日本・世界を背負っていく志を育むものと信じています。

4 備 考

開成の生徒を迎えるにあたって、本校生30名で5月に第1回目のプランニング案の考察を行い、その後2名ずつの班毎に分かれ6月に第2回目のプランニングを熟考済みです。7月に実際に本校で合宿を行いプランニングを通した香川の魅力、自分の故郷再発見についてディスカッションを行い考察・探究を深める予定です。

8月までに開成の生徒を迎えるためのブラッシュアップを重ねて、本番の3日間お互いに一生の思い出となるような時間を共有したいと考えています。